

Bunka Navi 文化ナビ

〒 757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎ 71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

文化の薫るまちになあれ…
不二輸送機ホール
(山陽小野田市文化会館)
休館日：第1・第3火曜日

お知らせ

山口県内で新型コロナウイルス感染者が発生したことを受け、不二輸送機ホール(文化会館)は、3月31日(火)まで貸館業務を休止します。

4月1日以降の利用申請受付は行っていますが、状況によって利用をお断りする場合があります。

ご理解いただきますようお願いいたします。

REPORT ~文化の薫るまちづくり~

◎「さんようおのだ演芸会～スマイルシティで大笑い!～」を開催しました。

2月16日、笑点でお馴染みの落語家、林家木久扇さんをはじめとする芸人を招き、落語の演芸会を開催。木久扇さんは、扇子を使って身振り、手振りだけで一人何役もこなし、落語家ならではの裏話や現代の流行などを取り入れた様々な噺を繰り出していました。観客は落語の世界に引き込まれ、その心地よいリズムやテンポ、緩急のついた間の取り方、情景が浮かんでくるような巧みな話術と豊かな表現力に「さすがプロ!」「涙が出るほど笑った!」と話していました。会場は笑いに包まれ、大人から子どもまで落語の世界を存分に味わっていました。



アーティストBOX 会員募集

あなたも様々なジャンルの芸術家が集う“アーティストBOX”のメンバーになって、「アートのとまてばこ」に参加しませんか?

●対象 アマチュア芸術家・芸術団体

※市内外、芸術分野は問いません。

●問い合わせ先 文化振興課 (不二輸送機ホール内)



COLUMN

競技かるたの「序歌」って何?

難波津に 咲くやこの花
冬ごもり いまを春べと
咲くやこの花 王仁

〈現代訳〉難波津に梅の花が咲いている。冬ごもりをして、今こそ春が来たといって梅の花が咲いている。

この和歌は、百濟から日本に渡来し、儒教や漢字を伝えたという王仁が仁徳天皇の即位を祝って詠んだ歌といわれています。『古今和歌集』の仮名序で、紀貫之が「歌の父母のようにてぞ手習ふ人の初めにもしける」と紹介しているように、習字でまず習うものがこの歌でした。平安時代の『源氏物語』にも、光源氏がまだ幼い紫の上に結婚を申し込んだ際、祖母が「まだ難波津の歌さえもちゃんと書けない子どもですから」と答える場面があります。

さて、競技かるたでは、試合の始めに、百人一首には入っていない歌を読み、試合開始の合図とします。これを「序歌」と言います。全日本かるた協会の依頼により、文学博士で歌人でもある佐佐木信綱氏が、この「難波津に」の歌を序歌として選定しました。また地方によっては、その土地にゆかりのある歌が序歌として読まれることもあり、おもしろいですよ。



小野田高等学校小倉百人一首かるた部
顧問 青池 のぞみ